



平成 28 年 2 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号：6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 28 年 1 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 28 年 1 月度の月次受注残高情報を開示いたします。

記

1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	100	30.4%	0.9%	△34.6%
F P D分野	217	65.8%	△6.7%	297.2%
その他分野	12	3.8%	△8.9%	△78.2%
合計	330	100.0%	△4.6%	24.3%

2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	H27. 2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
半導体分野	163	182	159	158	171	159
F P D分野	62	87	132	191	187	252
その他分野	42	13	26	19	26	44
合計	269	284	318	368	386	456

区分	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	H28. 1 月
半導体分野	158	143	133	105	99	100
F P D分野	237	202	250	250	233	217
その他分野	47	37	22	12	13	12
合計	443	383	406	368	346	330

3. 月次受注残高の概況

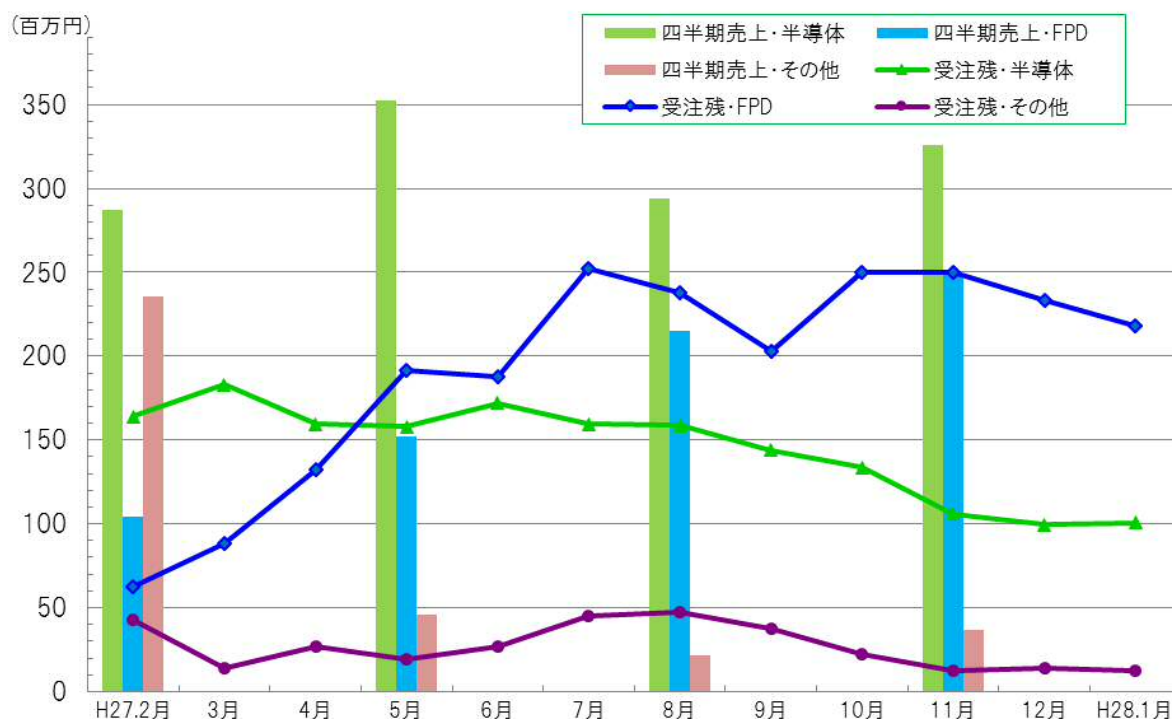
平成 28 年 1 月末の受注残高は、半導体分野においては、受注・出荷検収ともに復調していることから対前月増減率は 0.9%増、対前年同月増減率では 34.6%減の 100 百万円となりました。FPD 分野においては、若干の調整がありながらも受注残高は高水準を維持し、対前月増減率は 6.7%減、対前年同月増減率では 297.2%増の 217 百万円となりました。その他分野においては、おもだった動きはなく、対前月増減率は 8.9%減、対前年同月増減率では 78.2%減の 12 百万円となりました。これらの結果、平成 28 年 1 月末の受注残高は、対前月増減率 4.6%減、対前年同月増減率 24.3%増の 330 百万円となりました。

今後の見通しとしましては、半導体分野では、停滞傾向からエンドユーザーの微細化投資に伴って拡大傾向が強まる見通しです。FPD 分野では、設備投資が幅広く拡大し、高水準の受注と出荷検収が継続しております。なお、携帯端末向けの設備投資は本年半ばには一旦減少した後に、年末にかけて国内外で有機 EL 向けの受注が拡大し始める見通しです。また、テレビ向けに第 10 世代の大型パネル製造装置の引き合いが活発化しており、本年度中に試作し来期には量産化される見通しです。また、その他分野では、新型スマートフォンに関連した引き合いが若干出始めているほか、幅広い分野で営業活動を続けております。

全般的には、概ね好調な受注状況が続いております。今後は、大型真空パーツにおいては協力企業選定を進めることで生産性を改善し、半導体分野などの小型真空パーツでは試作受注を増やすことで今後の受注拡大を図ります。

以上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



- 注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。
- 注 2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。